

参加費無料

令和2年度

おかやま森づくりサポートセンター

活動発表会参加者募集



日時：令和2年9月20日(日) 13:00～16:00 (受付12:30～)

会場：建部町文化センター 小ホール 定員 約50名

■講演(13:10～14:40)

「緑のダム」ってどんなものか？

講師 岡山大学大学院環境生命科学研究科、環境生態学講座

教授 嶋 一徹 (しま かずとお) 氏



略歴

昭和36年7月2日生まれ

岡山大学大学院自然科学研究科博士後期課程修了、博士(農学)の学位取得。

平成5年 日本学術振興会・特別研究員、平成7年 岡山大学農学部・助手、平成12年 同・准教授を経て現職。

日本森林学会正会員、日本緑化工学会正会員、日本土壌肥料学会正会員。

岡山県環境審議会委員、公益財団法人おかやま環境ネットワーク理事

講演の要旨

「森林は緑のダムである」と言われています。では「緑のダム」とはどんなもののでしょうか？

「降った雨を蓄えて、ゆっくりと流し出す機能」は、「洪水緩和機能」や「渇水緩和機能」と同じことを意味しているように聞こえますが、実は両者の意味は微妙に異なっており、「緑のダム」という言葉をどちらの意味で使うかで、その評価も違ってきます。また、放置人工林を広葉樹の森へ転換したり、荒廃した森林の整備を行えば、豪雨時にも洪水緩和機能が発揮されると言われております。それはどのようなメカニズムでしょうか？また、手入れをすれば本当に洪水がなくなるのでしょうか？森林に降った雨の行方と森林土壌の構造などから、水源涵養機能について考えてみたいと思います。

■活動発表(14:50～16:00)

○就実・森の学校 岡山市中区地内



学校林である「就実・森の学校」での自然体験の状況及び平成23年から足かけ10年にわたる赤松(モモタロウマツ)林の再生の様子を紹介します。

また、令和2年度から始めたコバノミツバツツジの再生・増殖についても紹介します。

展示物：森の学校紹介パネル

○和桜会 新見市哲多町地内



過疎化によって手が入らず山間地は荒廃が進んでいます。里山環境保全と地域の活性化はセットです。10年ほど前より「野の花観察会」「植林」を通じて都市部の人と交流してきました。この中から定住する人も出てきています。今後もこうした活動を続けていきたいと思っています。

展示物：活動状況写真

